

いそんしょう ギャンブル依存症 1

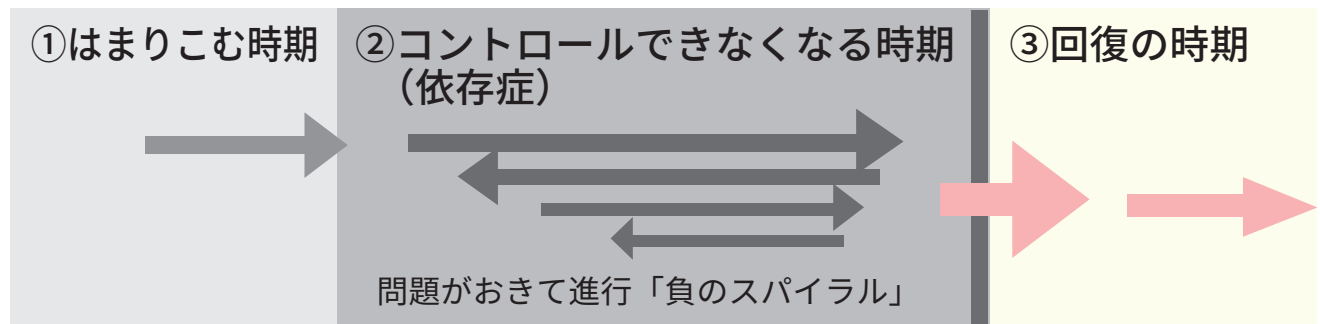


ギャンブル依存症は回復できる病気です。ひとりだけで抱え込まずに、相談できる人から、相談に行きます。

●^{びょうき}どんな病気？

自分の意志では、ギャンブルをやめられなくなる病気です。

●どんなふうに病気がすすむの（経過）？



●どんな問題が起きるの？（例）

借金 	仕事、育児 家事への影響 	人間関係に ヒビ 	気持ちの 落ち込み
---------------	-----------------------------	-------------------------	--------------------------



*どこからが依存症？ ... 問題が起きているにもかかわらず、やめられない、コントロールできないのが「依存症」です。「借金をしてまでギャンブル」はわかりやすい依存症のサインです。

●どれくらいの人がいるの？ギャンブルの種類は？

生涯 [しょうがい] で依存症が
うたがわれる人が 3.6%

ギャンブルの種類には、パチンコ、スロット、バカラ、競馬、競輪、オートレース、競艇、麻雀などがあります。

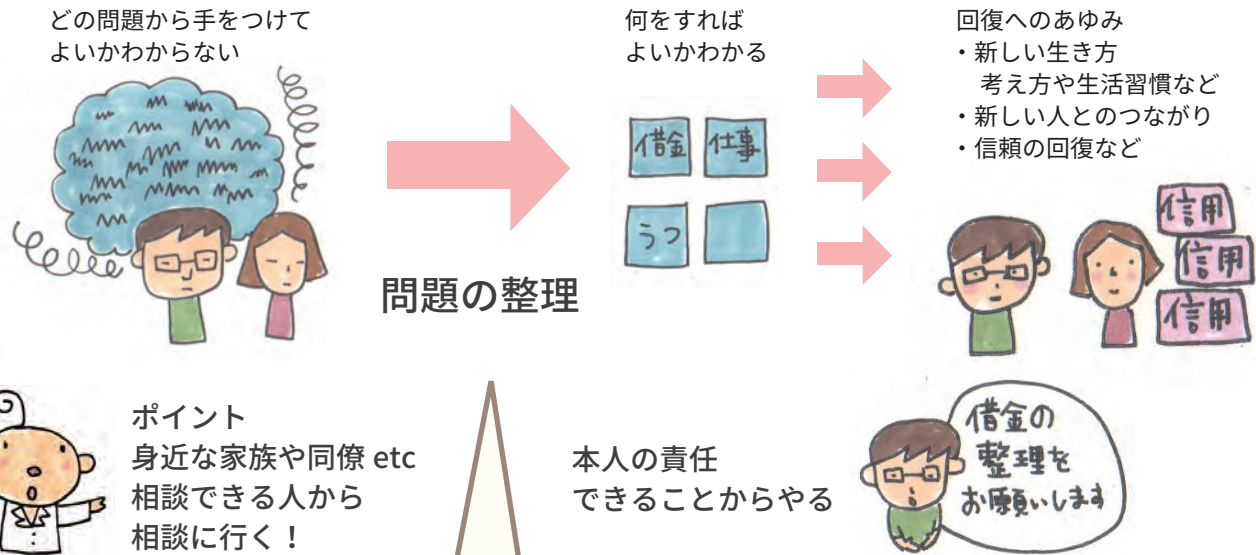
*厚生労働省研究班 平成 29 年度全国調査

いぞんしょう ギャンブル依存症 2



回復の過程はひとりひとりちがいます。自分にあった道すじを見つけます。

●回復のサポートになることは？



サポーターにつながる つながりやすいところへ

- 自助グループ
- 家族の自助グループ
- 会社の上司、同僚
- ギャンブル仲間ではない友人
- 弁護士、司法書士
- 医療機関
- 精神保健福祉センター
- 保健所などの相談機関 など

●借金はどう対応したらよい？

まわりの人が借金を肩代わりしないことがとても大切です。本人が借金の相談をできる窓口へ相談します。本人が行かないときは、家族から相談に行きます。



まわりの人が借金を肩代わりしない

※相談できるところ
役所の借金相談窓口（無料）

※このシートの全文、さらによく詳しい情報はウェブサイトで公開中

子ども情報ステーション
ギャンブル依存症

検索